

3. 安全な農産物の生産および環境と調和のとれた農業生産の取組に対する支援

環境こだわり農業の優良事例

対象者 春日営農組合

甲賀市の最北部の山間地に位置する春日営農組合は、集落内の各組織と連携した営農活動を展開している集落営農法人です。

平成13年に集落営農組織を立ち上げたときから環境保全型農業に高い関心を持ち、平成15年には滋賀県環境こだわり農業に取り組み、平成19年に法人化されて以後も継続したこだわり農業を行っておられます。

【耕畜連携】

平成15年から近隣の大規模肥育牛農家との間で牛糞と稲わらを交換し、毎年全ほ場に牛糞堆肥を施用するとともに、平成19年には堆肥舎を建設して良質なたい肥づくりにも着手し、集落内の土づくりを進めてこられました。現在では水稲26ha、大豆8haすべてで県の環境こだわりの認証を受けておられ、牛糞堆肥を10年施用したことで、土壌の肥沃度は大幅に向上し、肥効調節型肥料等の併用により化学肥料使用量が慣行栽培の50%以下に抑制されています。また、土壌分析の結果に基づく施肥設計を作成し、3年4作の輪作体系を組みながら、より資源循環を高めた環境保全型農業に努めておられます。



マニュアルレタダによる堆肥散布

【効率的な水循環システム】

当地域は農業用水をため池に頼っていることもあり、わずかな排水も一旦反復池に貯留し、ため池にポンプアップして用水として再利用する、地域独特の循環灌漑システムが構築されており、環境負荷軽減に貢献しています。これらの維持管理は、法人内の半数にあたる水利委員が用排水路を一元的に管理し、施設の維持や用排水の有効活用が図られています。

【地域活動】

平成21年に作業場の一角に直売所が設けられ、環境こだわり農産物の販売を開始し、環境保全型農業への理解を深めるため、法人内の環境部が中心となって収穫祭やため池生き物観察会を開催し、地域内外の幅広い年齢層が交流する場となっています。

また、農の雇用事業を活用し、就農希望者を積極的に受入れ、法人が取り組む環境保全型農業に関する栽培技術の習得を支援するとともに、現在ではその中から法人に就職する青年も現れています。

平成23年には女性部を結成され、24年に完成した加工場で県のこだわり認証を受けた米・大豆を使ってみそ加工を行うなど女性のいきいきとした活動につなげておられます。

(田中)